

『充実した人生のために』—気持ちをあらたに

10月31日(火)のFTでは、一鱗共同水産(株)から経営企画室長の本間正弘様にお越しいただき、進路講演会を行いました。

講演会では、記憶に残った言葉として、

- ・ポジティブに考える
- ・何事も良い方向にもっていく癖をつける
- ・自分自身で気分を上げる
- ・批評、批判家から実践家になる

という言葉などがありました。

同じ行動でも気の持ちようで異なる結果になりますし、気持ち次第では同じ時間をかけていても結果が異なるといえます。

今回の講演会で受けた刺激を大切に、気持ちをあらたに、高校生活を過ごしてほしいと思います。



感想文より (4組)

<p>最近思うように学力が伸びず模試の結果に一喜一憂して、もう勉強なんてやめてしまおうかと考えることが多くありましたが、本気の努力をする前に諦めてしまうのは本当にもったいないことだと分かりました。結果に悲しんで終わるのではなく、そこから出来なかったところを分析して次につなげられるように頑張ります。あとポジティブシンキングで!!</p> <p style="text-align: right;">齋藤 亜唯</p>	<p>勉強をするにしても何をやるにしても、まずは、本気で取り組むことが自分には必要だと思いました。私は、限界をどこかで決めて、中途半端にやるが多かったと思います。しかし、それをわかっていても、直せていないのが現実です。これをすぐに直すことはできないと思うけど、意識して、少しずつでも直していけるようにしたいと思いました。</p> <p style="text-align: right;">佐賀野 亜依</p>
<p>今の自分は、「今」を本気で生きていることができていないと思いました。努力することを投げだして、夢がないことを理由に、逃げているということに気がつきました。勉強も頑張るモチベーションがないし、ある程度していればいいかなとかすぐ楽な方になってしまう自分は「本気で生きる」とは程速いと思います。まずは、日々努力することを身につけていくことが大切だと思ったので、今日から頑張りたいです。</p> <p style="text-align: right;">澁谷 莉音</p>	<p>今の自分が抱えている悩みや苦勞を、大したことないと思えることで考え方を良い方向にもっていきけることが分かりました。またより多くの経験が大切であることが分かりました。そのことから、高校生である今のうちに自分ができる最大限の努力をしたり、自分が今までやることがないことに挑戦するなどすべきだと考えました。また、諦めないで努力することを大切にすべきだと考えました。</p> <p style="text-align: right;">平田 真桜</p>

M-1グランプリの現場より

昨年の学年だより「天に星」では、ハイスクールマンザイ 2022 への出場をお伝えしていた佐藤里駄哉さん。今年は、なんとM-1グランプリに出場したということは先日の進路講演会で宮崎先生からお話がありました。佐藤さんの「M-1グランプリ出場」という発表に体育館では大きな声援が沸き上がりました。



見学旅行前の結団式でのコントでは、見学旅行のマナーを面白く、しかし、しっかりとメッセージ性を持たせたうえで伝えてくれました。実際に、旅行中に飛行機やホテルで過ごしていて、あのコントを思い返した人も多かったと思います。



今回、「M-1グランプリへの出場」にあたり、M-1の舞台に立っての感想を聞いてみました。

M-1グランプリ 3回戦、200人以上の観客と殺伐とした雰囲気のプロ芸人たち、...

拍手と歓声に圧倒され、ネタを飛ばしに飛ばしました。恥ずかしながら帰って参りました。



今回のインタビューにあたって、いろいろなお土産話を聞かせてくれました!